

8 親元就農者からの要望や課題から円滑な経営継承に向けて

- 若手農業者のうち近年親元で就農した者を対象に意見交換を行い、地域における担い手確保と着実な経営継承をめざす。

○ きっかけ

福井県内でも、多くの農業者が高齢化と後継者不足から、新たな設備投資や経営展開が困難な状況にある。

一方で、園芸を中心とした農業者にとっては、親元就農により後継者が確保され、スムーズに経営継承を行ったケースも散見されており、後継者確保と経営継承への取り組みを行うこととした。

○ 取組の概要

鯖江市内において、近年親元就農した3名の農業者、国、県、市及び農業団体が一堂に会した懇談会を開催し、それぞれの立場から、親元就農での経営継承について、親子・親族間の継承での課題や要望、生産活動の維持向上に向けた課題等について意見交換を行い、条件整備や支援策の要望等を関係者で共有した。

○ 懇談会での意見・要望など

- ・ 家族経営では、経営の詳細が把握できず知識不足もあるので経営全体に関する指導を受けたい。
- ・ 農業者だけでなく異業種との意見交換で視野を広げることも必要。



令和2年11月27日 鯖江市内での意見交換の様子